## ◇ブックスタート事業について
## ◇熱中症対策にシャワーミストの導入を
## ◇サイクルロードの整備を

長浜 ひろみ 議員

**問** 本町でスタートしたブックスタート事業について、対象者とその人数、受け取り率、当局及びブックスタート事業の反響をお聞きします。

**町長** ブックスタートは、単に絵本に親ませる、子供に読書の機会を与えるという、それだけではなくて、絵本の読み聞かせを通して親子の触れ合い、温かさを感じる時間帯、この事に非常に大きな意義があるのではないかと考えております。

**教育部長** ブックスタート事業の対象者は、乳児一般健診対象者、生後9カ月から11カ月の乳児を対象に、赤ちゃんと保護者で1回目が67名、2回目が68名、3回目は9月25日実施なのでまだ報告がありません。受け取り率は1回目58％人数39名、2回目72％受け取り49名となっています。

**問** 次年度の夏に向け、小中学校での子供たちの熱中症対策にシャワーミストの導入はいかがでしょうか。このシャワーミストは散布機を使って水道水を霧状に噴射し、非加熱で周囲の温度を下げる効果があります。

日本で昔から行われている打ち水と同じ原理だそうで、霧は素早く蒸発するため、手足や服は濡れずに気温を約3度下げ、水圧を利用し霧を吹き出すため、電気を一切使わずにランニングコストも設置費用も安価であるということです。

**教育部長** ミストシステムとは、水が蒸発する際に気化熱の吸収を利用して冷房を行う装置です。

炎天下での陸上競技大会やグランドゴルフ大会には有効だと思われます。

今後導入につきましては予算等の優先順位も勘案しながら検討していきたいと考えております。

**問** 町民の健康維持と経済的な生活へ、町道・国道・県道等サイクルロードを整備し、エコの推進、メタボの改善にもつながる道路整備が必要だと考えるが。

**建設部長** 西原町都市基本計画の中で、歩行者道、自転車道の整備に取り組んでいる所であります。

現在整備中の道路として、国道329号バイパス、県道浦添西原線、県道那覇北中城線、町道小那覇マリンタウン線、小波津川南線、東崎兼久線などが歩道内で自転車の通行が確保されている主な道路です。本町内のサイクルロードの整備により、エコ、メタボ対策の一助になればと思います。

サイクルロード

## ◇土砂災害・津波対策の強化を
## ◇太陽光・自然エネルギー先進の町に

伊礼 一美 議員

**問** 西原町は急傾斜地に囲まれるような地形で大雨による土砂災害が多発している。町民は土砂災害の危険と常に隣り合わせの生活を余儀なくされている。①3・11大震災以降に発生した土砂崩れと大雨被害箇所の復旧対策を伺う。

**建設部長** 土砂災害では町道翁長幸地線で2カ所の土砂崩壊、西原台団地東側の地すべり対策工事完了周辺で1カ所の斜面崩壊、西原運動公園内のパークゴルフ場南側で擁壁の崩壊、大雨によって津花波変電所向かいの農道で決壊があった。復旧について、町道翁長幸地線とパークゴルフ場被災箇所は、国からの災害査定を受けて、県と調整をしながら対策工事を進めていく。西原台団地の斜面崩壊箇所は、県がのり面修繕工事をやることになっている。津花波変電所向かいの農道決壊箇所については、予算の確保ができ次第、対応していきたい。

**問** ②今後の土砂災害対策の方向性について伺う。

**町長** 地すべり地域の西原、中城、北中城の3町村で中頭東部地区地すべり対策検討委員会を立ち上げて、専門の先生方を含めて検討を進めている。国・県の支援を受けて4，500万円の調査費が計上されている。

### 進むー太陽光発電設置

**問** 町は平成20年度に西原町地域新エネルギービジョンを策定した。ビジョン実現に向けて推進体制の確立が求められている。①太陽光発電の設置費用はおおよそいくらになるのか。

**企画財政課長** 新築住宅の場合出力3・5キロワットでおおむね200万円。

**問** ②国・県・町からの助成はそれぞれいくらか。

**企画財政課長** 国の助成は1キロワット当たり4万8，000円で出力3・5キロワットの場合、約z万8，000円。県・町は1件当たりz万円。

**問** 平成22年度に助成を受けての町内での設置数は。

**企画財政課長** 40件です。

**問** 民間住宅への太陽光発電の助成制度の拡充を国や県に要請する考えはないか。

**町長** 新エネルギー導入事業は重要で、中部市町村会、沖縄県町村会等を通して要請していく。

### 新庁舎に憲法9条碑を

**問** 今の役場前の9条碑を新庁舎に移す考えは。

**町長** 移設の対象になる。

パークゴルフ場擁壁崩壊

## ◇滞納学校給食費は
## ◇耕作放棄地解消対策事業並びに農産物直売所の進捗は

城間 義光 議員

**問** 学校給食費については、配慮との理由により、滞納給食費は平成22年度決算額で1億535万5千円となっている。私は、一般質問でたびたび滞納給食費の法的手続による対策を提案した。やっと平成23年4月18日に制定した町学校給食費滞納整理要綱に基づき、適切に処理することになり、御努力に敬意を表します。（1）要綱の第11条の法的措置は、支払督促申立てなのか、訴訟どちらを考えているか。（2）同要綱第13条で必要に応じ弁護士に委託するとなっているが、全件をそう考えているのか。職員で対応すべきと思いますがお聞きします。

**教育部長** 法的視野も入れて滞納整理を取り組んでいる。現在、事務処理要綱の手続きに入る前の作業をしており、順次、事務処理要綱に移行し滞納整理をすることになる。徴収体制等の整備を図りながら、支払督促に向く、向かないケースを見きわめ、効果的な方法により法定措置を取りたいと考えている。できるだけ職員で対応することで考えているが、困難な事案が発生した場合には顧問弁護士にも相談して委託したい。

**問** 平成21年度から開始した耕作放棄地解消対策事業並びに農産物直売所の進捗状況については、耕作放棄地解消対策事業が順調に行ってないとの話がありますが、それがうまくいかなければ農産物直売所を開設しても意味がない。耕作放棄地解消について、真剣に、スピーディーにやるべきと思いますので、両事業の進捗状況について伺う。

学校給食調理風景

**建設部長** 農家の皆様から約1万8，000坪の承諾を頂いていますが、農地の集積する農業生産法人の設立が遅れ、遊休地解消には至ってない現状である。町も農業生産法人の設立に早急な対応を考えており、支援もしたい。直売所の開設につきましても、地産地消及び特産品の販売、さらには農家の育成や地域活性化を図る上でも大変重要な施設だと考えている。

**問** 直売所の予定はいつか。

**建設部長** 直売所の開設予定の次期は、平成24年度に対応ができればと計画の最中である。

## ◇幸地の土砂崩れについて
## ◇産業振興について

仲宗根　健仁 議員

**問** 台風9号の影響による町道幸地翁長線の土砂崩れの復旧は？

**建設部長** 県へ災害報告を行い、国からの災害査定を10月中旬に行う予定。今後、災害査定で工事費が確定次第、県と調整を図りながら対策工事を進めていく予定で、崩壊しているのり面をモルタル吹きつけ工で処理し、その周辺の崩壊予想範囲につきましても吹きつけのり枠工及び鉄筋挿入工で地山の補強を行う予定です。

**問** 島菜サーターアンダギーの普及はその後どうなっているか？

**建設部長** 昨年11月からAコープを初め、量販店、コンビニ等で販売開始が行われており、耕作放棄地解消対策協議会を中心に産業まつり、各種イベント等でピーアール活動を行うと同時に、身近な庁舎内からの普及と各自治会長会を通しての知名度アップを図ってる。今後は新たな販売普及促進の手法に取り組むと同時に、早急な直売所建設の実現で販路拡大に弾みをつけたい。

**問** 自治会長の皆さんから協力するという了解をもらえたのか？

**建設部長** 翁長自治会から地域の行事の中で取り入れるので、どこで販売をしているかという問い合わせがあったが、普及に対してはまだまだ町のほうの宣伝不足等もあるので、もっとしっかり対応をしていきたい。

**問** 3月議会でもどこで売っているんですかと、そうしたら首里の生協で売っているとか那覇で、与那原で売っているとか、西原の特産品というのに西原町で販売していないということがおかしいと私は指摘したんです。販売は商工会の皆さんがプロです。そこら辺の組織も利用しながらやっているのか？

**建設部長** 商工会を通しての販売ルートもあるが、卸問屋が、町内の商工会の関係者ではないので、行き届いていないということもある。あらゆる手段をとって普及活動をもっと大事にしていきたい。

**問** 商品販売のコーナーとか、桃太郎旗もあげて、西原の特産サーターアンダギーですというふうにしないとだめだと思う。ただ並べていては判らない。そういった販売グッズ、ぜひ検討して頑張って頂きたい。

**建設部長** 直売所構想もあるし、その中で特産品のコーナーを設けながら宣伝デピールをしたい。

町道幸地翁長線土砂崩れ